



~建築は、建てることより育てること~

令和6年9月号

vol.211

# MIZUNO "旬感"だより

うやま(う)・ケイ

敬

うやまいつしむ  
かわいい・疎かにしない

## 今月の言葉

「玄という色」

篠田桃紅著 “墨いろ”より

昔から墨の銘に「玄之又玄」というのがあり、私などは、玄は黒で、黒のさらに黒、というぐらいの意味に思っていた。しかし玄というの“くろ”であっても、ただ普通の意味の黒ではないらしい。

中国の『筆法記』という古い書物に「墨を用いて独り玄門を得」とかかれてあるそうだが、玄門というのは老子の言葉で、玄とは、人生と宇宙の根源で、真、本質、実在であり、また余計なものがないこと、おのずからのもの、無為のもの、作為のないこと、を言うことばであるというのだが、それを色に置き換えると“くろ”となって、玄ということになるのだと言われる。その“くろ”は、墨を用いて得られる、と『筆法記』の筆者は考えたのであろう。

そして、墨による黒は、真っ黒の一手手前の色、明るさのある黒で、心を騒がせない色、沈静であって死ではない、動きを残す色、ということである。玄というのとはまた、一筆の濃墨で書くのではなく、淡い墨を重ねて濃くしていき、真っ黒の一息手前で控えた色、とまことにむずかしい。

くろうと、というのは、だからとことんまでやりつくしてしまわないで、どこかにスキマというか、やり残したものを置いて、しろうとが手がかりにできる場、入り口みたいなものをつくっておくのだということにも通じる。

ほんとうの“くろ(玄)”は真っ黒ではない、という考え方が、私にはたいそう気に入る。一手手前でやめる、という、そのあと一步に無限のはたらきを残し、それはわが手のなすところではなく、天地自然、神、宇宙、とにかく人間のはかり知れない大きな手にゆだねる、そういう考え方がこのましい。このましいが、一手手前がまことにむずかしい。

蒸し暑い夏も過ぎ、月を愛でる季節を迎えつつあります。

夜空の“玄”も  
これまた一興ですね。



# 水野博旨



## 空間設計 ミズノ vol.88 のデザイン記録



先月紹介した名和昆虫博物館の隣にある「記念昆虫館」。こちらの方が先に竣工しており、明治40年(1907年)に完成しました。木造2階・レンガ造で、現在は内部に入ることはできませんが、赤色の切妻屋根が目目を惹く建物です。外壁の赤レンガや木部の赤色塗装部分も含めてどこか可愛らしい建物ですね。設計は武田五一。岐阜市重要文化財に登録されています。 スケッチ・文：水野真宏



9月は防災月間です。

ご自宅の防災グッズを再点検して  
もしもの時に備えましょう！

※避難場所なども  
確認しておいて  
下さいね。

『1mは一命取る』建設業での安全対策としてこんな合言葉があります。高さ1m程度の所でも落ち方によっては命取りになるという戒めです。災害に対しても油断せず、備えあれば患いなし！です。

### 食品・食器類

- 保存食(そのまま食べられるもの)
- 飲料水(1人1日3ℓ必要)
- はし・スプーン・皿・コップ

### 防災用品

- ラジオ・懐中電灯
- ヘルメット・防災ずきん
- 軍手・マスク

### 医療・衛生用品

- 包帯・ガーゼ・三角巾
- 紙おむつ・生理用品
- ウェットティッシュ
- 薬・薬手帳の写し

### 貴重品

- 現金(小銭)
- 通帳写し・印鑑
- 保険証・免許証写し

### その他

- 携帯トイレ
- 雨具
- 手動携帯電話充電器
- 衣類・タオル
- 予備メガネ
- スリッパ

### ~専門家おすすめ

### あると便利グッズ~

- 小型ヘッドライト
- ガムテープ&マーカー
- 歯磨きシート  
又はマウスウォッシュ
- 新聞紙
- ラップ
- スーパーのレジ袋

この旬感だよりは  
ホームページでも  
ご覧いただけます。

株式会社 ミズノ ホームページ→

www.mizuno1950.co.jp



空間設計 ミズノ ホームページ→

www.mizuno-architects.com



第75回ミズノメセナイイベントのご案内

“ワインの謎解き”の著者 安間宏見先生による

# ワインの楽校～第二限目～

第二限目は、“赤ワイン”の謎解き

日時: **10月18日(金) 19時～21時**

◇教室: 株式会社ミズノ1階ヴィレポヌール

◇授業料: 3000円(4種のワイン試飲付き)

※ご出席は20歳以上の方に限ります。

【講師紹介】安間宏見 Yasuma Hiromi

1985年、名古屋の桜の名所である山崎川沿いに、昭和初期の一軒家を改造したレストラン「桜喰亭」を開く。ワイン・レストランのオーナー業がワイン研究に深入りするきっかけになり『ワインの謎解き』が生れた。

知るともっと  
楽しくなる!  
美味しくなる!



第76回ミズノメセナイイベントのご案内

お待たせしました! 2021年にやむなく中止となったこの企画が開催決定!

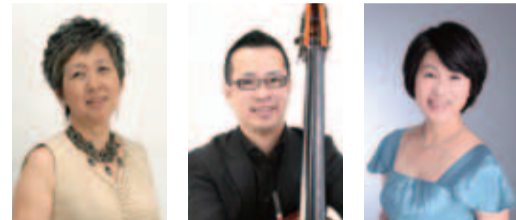
朗読・メゾソプラノ  
**大橋多美子** &  
コントラバス ピアノ  
**榊原利修 & 榊原祐子**

朗読ライブ～**ごんぎつね**～

**11月16日(土)** 開場 18:00  
開演 18:30

◇会場: 株式会社ミズノ1階ヴィレポヌール

◇参加費: 2000円(中学生以下無料)



朗読ライブのイメージ  
動画(YouTube)↓



▼お問合せ・お申し込みはこちらのお電話・FAX・メールにて承ります。

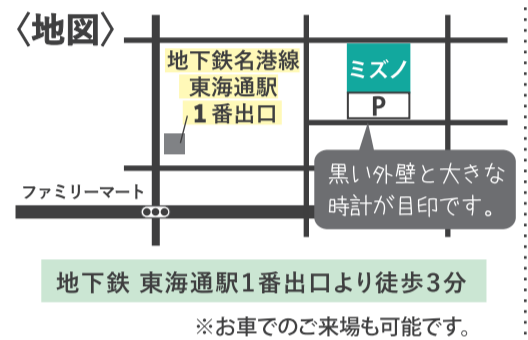
参加ご希望のイベント・お名前・ご連絡先・ご参加人数をお知らせ下さい。

TEL 052-652-6886 FAX 052-661-0653

メールアドレス [mizuno@mizuno1950.co.jp](mailto:mizuno@mizuno1950.co.jp) →



メールの際は  
こちらの  
QRコードを  
ご利用下さい。



見習い建築士の  
**BOOKS & CINEMAS**

■REM / 監督: Tomas Koolhaas

こんにちは! 設計部の武政です。今回の映画は、名だたる建築の設計を手がける建築設計事務所 OMA の代表であるレム・コールハースのドキュメンタリーであり、彼の実の息子トーマス・コールハースにより作られています。

建物を見たり、現場に行ったり、その地域の環境を感じる際に、常に思考を巡らせているレム・コールハースの頭の中を見ているような感覚でとても勉強になりました。劇中には OMA に務める日本人建築家・重松象平氏が登場し、OMA やレム・コールハースについて語っていたり、レム・コールハースが設計した建物のクライアントや利用者が感想を話していて、彼の偉大さを実感しました。また、この映画は映像も素晴らしく、シアトル中央図書館や中国の CCTV、日本のネクサスワールド香椎などの建物映像を見ることが出来ます。中でもボルドーの家の車椅子利用者の為の可動する床はとても美しかったです。また、オープニングがとてもカッコ良く、そこも見どころです。



第74回ミズノメセナイイベントのご報告

お盆を過ぎた夏の夜、

## 上方講談会

開催致しました。

今回で3回目となる講談会。この躍動感を生でしか体感できません! 時折、窓の外で光る稲光も演出となり、最後の怪談話ではささやかな涼を感じました。

今後の講談会開催情報はこちらにて。

～上方講談協会ホームページ～

[kamigata-kodan.jp](http://kamigata-kodan.jp)



暑い中お越し下さった皆様  
旭堂南左衛門様 旭堂南文字様  
ありがとうございました



雷は秋の味覚に欠かせない?!

### 植物の大切なパートナー

侯で“雷乃收声(かみなりすなわちこえをおさむ)”。春から夏にかけて鳴り響いた雷が収まる頃といわれます。実は、雷には植物を育てる力があり、常に自然と共に暮らした先人から「雷が落ちた所は豊作になる」とか「稲妻ひと光で稲が一寸(約3cm)伸びる」という伝えがあるのです。これらは迷信ではなくちゃんと理由がありました。植物の成長に欠かせない三大要素は“窒素・リン酸・カリウム”で、雷放電により空気中の窒素が酸素と結びつき窒素酸化物となります。これが雨に溶けて稲など農作物に降り注がれ自然の肥料となり、成長を促がすというわけです。そうとわかれば、突然の雨や雷も見方が変わり、これからの秋の実りがより楽しみになります。また、雷の光を“稲妻”ともいいますが、雷が多く発生するとより多くの稲が結実することから、稲のパートナー＝稲妻と呼ばれるようになったそうです。



住宅・店舗の設計・施工・監理

株式会社 **ミズノ**

〒455-0001

名古屋市港区七番町5丁目3番地

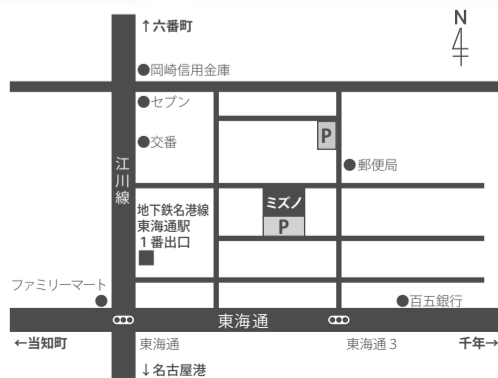
TEL: 052-652-6886

FAX: 052-661-0653

Web: [www.mizuno1950.co.jp](http://www.mizuno1950.co.jp)

Mail: [mizuno@mizuno1950.co.jp](mailto:mizuno@mizuno1950.co.jp)

☎ 0120-387-312



・駐車場は社屋南側と郵便局側にご覧下さい。  
・市営地下鉄「東海通駅」下車、1番出口より徒歩3分

一級建築士事務所  
**空間設計 ミズノ**

〒461-0025

名古屋市東区徳川一丁目10-3

名古屋陶磁器会館2階204号室

TEL: 052-982-8316

FAX: 052-982-8357

Web: [www.mizuno-architects.com](http://www.mizuno-architects.com)

住宅設計・デザインリフォーム・商店設計  
コンバージョン(用途変更)・など



・最寄の駅 市営地下鉄 桜通線 高岳駅(徒歩20分)  
・最寄りのバス停 市バス 赤塚バス停・赤塚白壁バス停